

# ツクバハコネサンショウウオ

あたら はっけん しゅ  
新しく発見された種です!

2013年、水郷筑波国定公園内の筑波山に生息しているこのサンショウウオが新種であることがわかり、「ツクバハコネサンショウウオ」と命名されました。

(学名 *Onychodactylus tsukubaensis*)

「ツクバハコネサンショウウオ」は、2015年に「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(以下、「種の保存法」)に基づき、環境省から国内希少野生動植物種として指定され、許可なく捕獲、採集、譲渡することが禁止されました。また、「保護増殖事業」の実施や「生息地等保護区」の指定によって、種および生育・生息地の保護対策などが図られます。

筑波山だけにいる固有種の「サンショウウオ」を知っていますか？  
その名は「ツクバハコネサンショウウオ」  
この貴重な「生きている宝物」を  
みんなで守るために  
私たちひとりひとりに  
できることは何でしょうか

筑波山に登ったとき  
筑波山をながめたとき  
「ツクバハコネサンショウウオ」のこと  
筑波山の自然のこと  
ちょっと考えてみませんか

筑波山のたいせつな宝物  
ツクバハコネサンショウウオ  
をみんなで守ろう!



国内希少野生動植物種  
「ツクバハコネサンショウウオ」

## 筑波山のブナ林とともに生きる「ツクバハコネ サンショウウオ」

ツクバハコネサンショウウオは、筑波山や周辺のブナ林の気候に適応して生きています。温暖化や木々の伐採によってブナ林がなくなると、ツクバハコネサンショウウオは、生き残るのがむずかしくなり、消えてしまうかもしれません。氷河期の生き残りと考えられていて、幼生は水温が20度以上になると生きられません。また、成体となっても温暖化のため気温が高くなると生きられないのです。

## 筑波山に登ったら

筑波山の沢の水を汚さないようにゴミは持ち帰ってね。  
動物を捕まえたり、持ち帰ったりしないでね。  
花を折ったり、木や草を持ち帰ったりしないでね。  
決められた登山道以外には入らないでね。

企画・発行  
茨城県生活環境部環境政策課 生物多様性センター  
〒310-8555 茨城県水戸市笠原町978番6

筑波山であたらいいな

このパンフレットは(株)伊藤園のお茶『お茶で茨城を美しく。』キャンペーン寄付金でつくられました。



# ツクバハコネ サンショウウオの一生



← 約120 ~ 140 mm →

## 成体 (おとなのこと)

目がもりあがってキョロキョロと動きます。エラや肺がなく、皮膚で呼吸し陸上で生活しています。主に夜行性で、筑波山の湿った涼しいブナ林などの根元で、ミミズ・ダンゴムシ・トビムシなど小さな動物を食べ、ひっそりと生きています。

たまご 卵  
 さわ げんりゅうぶ くら  
 春、筑波山にある沢の源流部の暗い岩穴に卵を生みます。7~15個の卵が入った2袋の卵のうを、水中の岩に、流されないようにしっかりとくっつけます。



卵のう

↔  
5 mm



← 約 20 mm →

卵のうから生まれ出たばかりの幼生

## 幼生 1年生

水中の産卵から3か月以上かけて卵のうから幼生が生まれ、泳ぎ出します。卵のうから出ても、すぐには岩穴から出ていきません。手足が生えて、その指に黒い爪が生えると、やっと沢の流れへと泳ぎ出せるのです。



カゲロウの幼虫を食べるツクバハコネサンショウウオ

そと ← 外エラ

## サンショウウオ(山椒魚)って どんな生きもの?

サンショウウオは、カエルやイモリと同じ両生類のなかまで卵を水中に産みつけ、孵化すると幼生となり、えらで呼吸し水中で生活します。やがて、エラが消えて陸上生活をする成体になります。カエルとはちがって、尾は長いままです。高温や乾燥に弱いので、涼しく湿ったブナ林と沢が最高のすみかなのです!



← 約 60 ~ 80mm →

## 幼生 3年生

夏から秋にかけて変態が始まり、外エラが消えて、目がもりあがってきます。



どこにいるかな?

## 幼生 2年生

外エラで呼吸をします。急流の沢の、冷たい水中でヨコエビやカゲロウの幼虫などの水生昆虫を食べて成長します。